

## 令和 3 年度博物館事業報告

## 1 資料収集・保管・活用

項目	概要
資料の受け入れ	新規受け入れ資料 27 件（考古 3 件、歴史 15 件、民俗 9 件）
資料の保管・整理	デジタル台帳や配架表への入力、外部収蔵施設の台帳整備（舞阪郷土資料館の一部） 収蔵庫の温湿度管理・清掃、全館燻蒸・個別燻蒸の実施
図書の受け入れ・管理	寄贈図書受け入れ・既存図書の整理
資料の活用	収蔵品オンライン検索システム「ある蔵」での資料情報公開、資料の特別閲覧（熟覧）17 件、他館等への資料貸出 6 件、画像等の利用許可 67 件

## 2 調査・研究活動

項目	概要
蜷塚遺跡保存活用計画策定	令和 2～3 年度で実施。蜷塚遺跡に関する情報を整理し、保存活用の基本方針や方向性を示す。有識者による検討会、市民へのワークショップやヒアリング、教職員へのアンケート調査などを踏まえて年度末に策定。
蜷塚遺跡資料の再整理	最初の発掘調査から 60 年以上が経過しているため、出土遺物や調査記録類などの資料の再整理の一部を行った。
伊場遺跡群弥生時代資料の再整理	重要文化財への指定を目指し、出土遺物や調査記録類などの一部の再整理を行った。※図録発行は文化庁との調整により令和 4 年度へ延期した。
家康伝承調査事業	令和 2～4 年度で実施。市民協働で家康伝承等の学習や調査を行った。
その他調査	市内外へ出向き、資料や文化財等の調査を行った。

## 3 展示

会場	会期	名称	観覧者数
本館	(2月1日)～5月9日	テーマ展「これなんだ？－古代の木製品－」	3,488 人
	5月22日～7月11日	テーマ展「独礼庄屋高林家」	4,603 人
	7月31日～9月5日	テーマ展「縄文グルメ－縄文人は何を食べたか－」	6,877 人
	10月30日～1月10日	テーマ展「新収蔵品展」	6,827 人
	(3月23日)～5月9日	小展示「干支展 丑」（豊橋市自然史博物館共催）	※テーマ展に含む
	7月15日～9月5日	小展示「昭和のオリンピック－1964－」	※テーマ展に含む

会場	会期	名称	観覧者数
	10月26日～3月2日	小展示「道具たちの100年」	※テーマ展等を含む
	3月5日～5月8日	小展示「古墳へ出かけよう！～浜松の横穴式石室～」	1,870人
	3月5日～5月8日	小展示「干支展 寅」（豊橋市自然史博物館共催）	※テーマ展等を含む
	通期	常設展示「目で見る浜松の歴史」	29,311人
会場	会期	名称	実施主体
市民ミュージアム浜北	5月23日～6月13日	浜北文化協会水墨画展	指定管理者
	7月4日～8月29日	浜北文化センター40年のあゆみ展	指定管理者
	9月1日～10月31日	浜北の龍燈・秋葉山常夜燈・浜北文化協会絵手紙展	指定管理者・浜北文化協会
	11月12日～1月16日	あかりの道具（巡回展）	博物館
	1月21日～3月6日	干支展～寅～（巡回展）	博物館
姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館	4月24日～6月6日	没後50年野島青茲展	博物館
	6月11日～8月22日	あかりの道具（巡回展）	博物館
	9月4日～11月14日	古代東海道（巡回展）	博物館
	11月17日～3月31日	パネル展「絵はがきに見る浜松」	博物館
春野歴史民俗資料館	7月30日～1月30日	赤レンガの記憶	春野協働C
	2月2日～(5月8日)	まちの盛り場（巡回展）	博物館
水窪民俗資料館	5月28日～9月12日	パネル展「絵はがきに見る北遠」	博物館
舞阪郷土資料館	4月3日～6月27日	浜名湖の風景	指定管理者
	7月2日～9月26日	浜松城 築城から現代へ（巡回展）	博物館
	10月3日～11月28日	まちの盛り場（巡回展）	博物館
	12月4日～1月30日	明治時代の東海道五十三次	指定管理者
	2月5日～3月27日	郷土ゆかりの人たちの書	指定管理者

#### 4 講座・講演会等

項目	日程	講師・概要
「古人骨の分析からわかる縄文人の食生活」	8月1日	講師：日下宗一郎氏（東海大学） テーマ展関連事業
講座&ワークショップ「みんなで考えよう蜆塚遺跡の保存と活用」	8月8・29日	講師：鈴木京太郎（当館学芸員） テーマ展関連事業
「縄文の食・弥生の食」	8月15日	講師：久野正博（当館学芸員） テーマ展関連事業
第1回はまはく講座「新発見の遠州浜松城図を読む」	1月8日	講師：鈴木一有（文化財課長） テーマ展関連事業
「近世の歴史的記憶と由緒—徳川家康と武田信玄をめぐる—」	2月12日	講師：山本英二（信州大学） 家康伝承調査関連事業
根堅遺跡の調査と沖縄の旧石器時代研究	3月20日	講師：藤田祐樹（国立科学博物館） ボランティア養成講座関連事業

項目	日程	講師・概要
初歩の古文書講座（連続講座）	毎月	講師：橋本充悠（当館学芸員） 古文書解読の入門講座
ボランティア養成講座（連続講座）	毎月	講師：当館学芸員・指導主事 博物館の展示の学習など
家康伝承事業関連講座（連続講座）	不定期	講師：当館学芸員・文化財課職員 伝承や由緒、史跡等について学習

## 5 体験学習・イベント

項目	日程	概要
はまはくまつり	5月1日～5月5日	銅鏡・勾玉・缶バッジ等。参加者のべ5,008人。
縄文のくらしチャレンジ	6月19日	石器使用体験など。186人。
火おこしマスターへの道	7月3日	各種火おこしの体験。190人。
夏休み体験館	7月31日～8月22日	ミニ銅鏡・勾玉・縄文マグネットづくり等
手書き年賀状講座	12月11日	芋判による年賀状デザインの作成。34人。
味噌づくり講座	12月24日	手作りの味噌づくり。10組。
冬休み体験館	12月24日～1月5日	昔の遊び・コマまわし大会・木製玩具づくり等
昔のくらし体験館	1月29・30日	アイロン・石臼・綿繰等
古代のアクセサリーづくり	2月26・27日	勾玉づくり等
春休み体験館	3月23日～3月31日	昭和のおもちゃで遊ぶ

## 6 博学連携事業・アウトリーチ事業

項目	日程	概要
学校移動博物館A（職員派遣型）	各1週間程度	当館が市内小学校にて展示と歴史体験を開催 開催校10校
学校移動博物館B（教材貸出型）ほか	数日～1週間	展示用キットと体験用機材を貸出99件 福祉施設等へも貸出
教員向け講座	8月6日	博物館や資料の活用法についての講座
逸品まちかど陳列事業	5月17日～6月4日	浜松磐田信用金庫蛸塚支店にて古写真等のパネル展
出前講座など	申し込みに応じて随時	8件実施（学校、市民団体、図書館等）

## 7 実習生等の受け入れ

項目	概要
博物館実習	地元出身学生及び地元大学学生の博物館実習を受け入れ。11人。
教員研修	教員研修の受け入れ。13人。
職場体験	中学生、高校生の職場体験の受け入れ。4人。

## 8 外部団体等との連携

項目	概要
静岡県博物館協会	事業推進グループへの職員派遣
浜松市教育研究会 社会科研究部	市内の小中学生の社会科自由研究優秀作品展と表彰式の開催
大橋幡岩プロジェクト	大橋幡岩に関する調査、ピアノコンサートの開催
静岡文化芸術大学	浜松の機械染色の型紙（共同研究）
静岡大学	滝沢鍾乳洞遺跡の発掘調査、蜷塚遺跡出土貝類の調査
豊橋市自然史博物館	干支展の共催、蜷塚遺跡出土動物骨の整理
根堅遺跡調査団	根堅遺跡、堀谷洞穴の調査
中日新聞東海本社	浜松の歴史のとびらの連載記事協力
中日新聞社 INE 事務局	新聞切り抜き作品コンクール受賞作品展、新聞切り抜き作品教室
おはなしつむぎの会	旧高山家住宅で「かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし」（語り聞かせ）を毎月開催（4～5・8～9月は中止）
わおんプロジェクト	コンサートの開催（3/26）

## 9 市民学芸員・博物館ボランティア

項目	概要
しじみの会	カラムシの糸づくり、体験学習活動
和綿の会	和綿の栽培と綿づくり
ガイドボランティア	常設展示や蜷塚遺跡の解説
古文書解説会	古文書解説（本館で活動）
いぐさ会	展示解説、古文書解説（姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館で活動）
大橋ピアノ資料研究会	浜松のピアノ製造史の調査研究・資料整理
谷下ワニ研究会	化石展示計画、化石分類整理

## 10 情報発信

項目	概要
刊行物の発行	館報（年1回）博物館情報（隔月・年6回）・博物館だより（年3回）
広報	ポスター、チラシ、催し物案内（イベントカレンダー）、パンフレット
ホームページ	事業内容の発信、事業参加者の申込、動画配信など実施
SNS	ツイッター、インスタグラムでの情報発信
情報メディア対応	新聞、TV、ラジオ、情報誌、情報サイト等への情報提供や取材対応